

新庁舎建設基本設計がまとまりました。

～豊岡固有の自然・歴史・伝統・文化を大切にするまちづくりの象徴として～

このたび、新庁舎建設に向けて、外観のイメージや建設位置などの概要を決めた基本設計をまとめました。基本設計をまとめるに当たっては、昨年11・12月に行った中間案市民説明会等での意見を尊重し、配置等を若干変更しています。

今後は、引き続きより詳細な実施設計に着手し、平成22年度中の工事着手及び平成25年3月の完成をめざします。

1 新庁舎建設の概要

- 建設地 現在地
- 建築面積 約3,300㎡（現本庁舎と新庁舎の合計）
- 延床面積 約14,000㎡（現本庁舎と新庁舎の合計）
- 新庁舎の構造 鉄筋コンクリート造
- 新庁舎の階数 地上7階建
- 新庁舎の高さ 約35m

2 設計コンセプト

- 庁舎と街並み・新庁舎と現本庁舎との調和
約80年間市民の皆さんに親しまれてきた現本庁舎を中心に、今後も親しまれ、街並みに調和した庁舎とします。
- 災害対策への配慮
高い安全性と機能性を確保し、市民の安全を守るシンボルとします。
- 環境への配慮
積雪や寒暖の差が大きい気候を考慮した環境配慮技術を積極的に導入します。
- ライフサイクルコストの低減
ライフサイクルコストについては、徹底的に検討し、環境負荷の低減を図ります。

3 配置計画

- ・ 現本庁舎を、現位置より南に約20m移設します。
- ・ 現本庁舎を中心にシンメトリー（対称性）を基本とします。
- ・ 現本庁舎のシンボル性を高めるため、新庁舎低層部より、南に配置します。
- ・ 正面から見た場合に、圧迫感を与えないような位置に建物を配置します。
- ・ 現本庁舎の南側にイベント等に活用できる市民広場を配置します。あわせて、中庭を設けることにより、やすらぎの空間を創出します。
- ・ 新庁舎には、来庁手段・方向に対応した出入口を設け、北側に駐車場を配置する等、利便性を確保します。

4 現本庁舎の活用

- ・ 豊岡固有の自然・歴史・伝統・文化を大切にすまちづくりの基本理念のもと、保存し活用します。
- ・ 1階は、交流センター（仮称）として、市民広場とあわせて、市民の皆さんの交流と賑わいの場とします。
- ・ 2階は、豊岡市政の歴史を刻む場として、議場とします。
- ・ 3階は、建築基準法上活用することについて制約があるため、それをクリアする方法を、現在、国や県等と協議しているところです。

5 新庁舎の階層イメージ

- 〈 1 階 〉 来庁者の多い市民課や税務課等市民生活部を配置します。
- 〈 2 階 〉 来庁者の比較的多い経済部やコウノトリ共生部を配置します。
- 〈 3 階 〉 市長・副市長室及び防災課等、災害時に中枢となる機能を配置します。
- 〈 4～6階 〉 南側を執務ゾーンとし、北側に書庫や会議室などを配置します。執務ゾーンは、仕切りのないワンフロアとし、各部署を配置します。
- 〈 7 階 〉 南側を議会ゾーンとし、北側には、電気室、自家発電機室などを配置します。

6 災害対策

- ・ 免震構造を採用することで、地震時の振動を低減します。
- ・ 「官庁施設の総合耐震計画基準」における安全基準の確保をめざします。
- ・ 1階のフロアレベルを現状より約70cm高くします。
- ・ 2階のフロアレベルを洪水想定浸水深（4.86m）より高くします。
- ・ 機械類を浸水させないため、機械室、監視室（操作室）を2階以上に設置します。
- ・ 電源を2ルート確保し、停電の可能性を低くします。
- ・ 自家発電装置を設置し、停電時の電源を確保します。
- ・ 積雪荷重を1.5mに設定します。（建築基準法施行令等に規定）

7 環境対策・ライフサイクルコストの低減

- ・ アウトフレームで外観を形成することにより、夏期の余分な日射を遮ります。
※ アウトフレーム＝柱や梁などを室外に出す設計のこと。
- ・ 高断熱ガラスを採用し、窓ガラスからの熱負荷を低減します。
- ・ 自然採光や自然通気を活用します。
- ・ 太陽光、地熱及びバイオマス等自然エネルギーを積極的に活用します。
- ・ 設備システムについては、高効率なものとし、省エネルギー化を図ります。

8 仮庁舎移転

- 仮庁舎の計画
できる限り経費を抑えるために、基本的に市有の施設や貸館を活用し、改修経費が必要な場合も最小限となるよう計画しました。
- 仮庁舎建物
豊岡健康福祉センター、北庁舎、南庁舎、南庁舎別館、東庁舎別館等
- 移転スケジュール
 - ・ 豊岡健康福祉センター改修

- ・ 第1回引越し（8月頃）
 - ・ 南庁舎、北庁舎等改修
 - ・ 第2回引越し（12月～1月）
- ※ 各課の配置等の詳細は、6月頃お知らせする予定です。

9 概算事業費

別紙のとおり

10 今後のスケジュール

別紙のとおり

《問合せ》新庁舎建設推進室
Tel : 21—9020